幸田町

所属議員

田境 毅

【活動選定項目】 国・県・市町で取り組 むテーマを設定

- ① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車)
- ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現
- ③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上

④ 地域への貢献活動

(例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成)

- ⑤ 子育て支援策
- 6 行政の DX 推進施策
- ⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)

具体的活動(調査・研究含む)

選択した項目

カーボンニュート

テーマ(1)

ラル(CN)への対応

○議会での質疑など

【一般質問】

公用車に次世代自動車を導入する具体的な計画

- ・EV、HEV、PHEV、FCEV など導入比率
- →(環境経済部長)

現在、公用車 87 台の内、次世代自動車は 4 台。第 4 次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)で具体的目標数値を設定する。災害時停電リスクを考慮し、EV を中心としながらも HEV なども選択肢と考え、年間2~3台程度を継続的に更新したい。

・充電・充填インフラの整備促進

→(環境経済部長)

国補助金で自治体の費用負担なし事業スキームを提案する民間事業者が現れた。公共施設の 充電インフラ整備も検討したい。水素ステーションは今後模索したい。

など

○議会以外での働きかけ

主に環境課、財政課、議会事務局局長に対し、各メーカーが市場へ投入予定の次世代自動車を研究し、行政の役割や使用用途・実態に合ったモデル選択が重要であることを働きかけ。

【図や活動の様子が分かる写真など】 **<一般質問の様子>**



今後の活動

- 町議会の意識啓発を継続し適宜、具体的施策や目標値を共有。町民が触れる機会を提供し、町既存媒体を活用した町民への発信。
- ・必要に応じ、県や関係団体への対策要望などの情報共有支援を継続する。

○議会での質疑など 【一般質問】 具体的活動 ・部活動の地域移行 (調査・研究含む) →(教育部長) 人材、施設などの課題が山積であり、すぐに地域移行することは難しい状況。部活動指導員を 配置し、地域の人材と顧問が連携し部活動を進めることとしている。 ・職員採用試験の応募者を増やすため、採用試験時期の最適化 →(総務部長) 毎年9月の職員採用試験を、次年度は7月にも追加実施し、人材の確保を図る。 選択した項目 など テーマ(4) ○議会以外での働きかけ 地域への貢献活動 ・学校教育課に対して、町内企業に在籍する部活動指導者の発掘(支援の実績多数)を働きかけ。 など

【図や活動の様子が分かる写真など】

<一般質問の様子>







今後の活動

- ・部活動の地域移行は、山積する課題を広域で解決するものと、自治体単位で解決するものに層別する。
- ・広域的な情報共有および、課題を吸い上げ解決するサイクルを回すしくみづくり。

具体的活動 (調査・研究含む) ○議会での質疑など 【委員会など】 ODX 推進特別委員会 ・11 月 15 日行政視察にて、長久手市議会のペーパーレスシステムを手本に、議会目線の意見交換を実施。学びを本町活動へ反映する。 変換を実施。学びを本町活動へ反映する。 など 行政の DX 推進施策 ・議会広報特別委員会において、ICT 機器を使用する環境整備を議会事務局へ働きかけなど

【図や活動の様子が分かる写真など】 **<長久手市議会と意見交換>**



今後の活動

・議会広報特別委員会での当面の方向性として、私物ノートPCで編集作業できる環境整備を促進する。